

平成22年第3回定例議会

9月1日～17日「決算議会」を開催

平成22年の第3回目となる定例議会が9月1日から17日までの会期で開かれ、平成21年度の決算認定を含む31件の議案等について審議しました。



(10月17日 シビックガーデン 収穫祭)

平成21年度全11会計決算を認定！

会計別		歳入	歳出	内容	
一般会計		201億9,384	193億6,693	歳入@ 37万2千円 (前年比 31,378円・9.2%↑) 歳出@ 35万7千円 (前年比 27,937円・8.5%↑)	
特別会計	国民健康保険	(事業勘定)	56億3,676	55億7,183	加入世帯 8,922、被保険者 18,242、保険税@ 91,713円 医療費@ 245,805円、特定検診受診率 32.2%
		(白河診療所)	2億1,303	1億9,511	診療件数 10,202件 (前年比 44件↓)
	老人保健	2,074	1,711	後期高齢者医療制度に移行につき、残務処理のため会計を保持	
	後期高齢者医療保険	3億3,652	3億3,005	保険料@57,104円、医療費@790,385円	
	介護保険	(事業)	26億8,042	26億2,002	月平均被保険者 940、月平均要介護認定者 120 (認定率 12.8%) 保険料@ 41,011円、給付費@ 199万2千円
		(サービス)	337	276	高齢化率 21.3% (前年比 0.3%↑)
	下水道	20億3,761	20億785	処理区域 862ha、普及率 33.0% (前年比 3.7%↑)	
	農業集落排水	4億9,678	4億8,086	処理区域 317ha、普及率 6.5% (前年比 0.1%↑)	
	戸別浄化槽	6,945	6,571	30基を設置 (5人槽 20基、7人槽 9基、10人槽 1基)	
	霊園	1,499	1,496	37区画の新規利用申込	
企業会計	病院	収益的収支	3億1,778	2億7,847	外来患者数 51,673 (前年比 5,347↑) 入院患者数 14,179 (前年比 1,399↑)
		資本的収支	—	4,333	病床利用率 48.5% (前年比 4.7%↑)
	水道	収益的収支	7億6,436	6億4,710	給水件数 13,959件、給水人口 41,827人 (普及率 93.2%) 総配水量 460万m ³ (前年比 146,539m ³ ↑)、有収率 81.4%
		資本的収支	7億1,591	10億1,254	1日平均配水量 12,607m ³ 、施設利用率 75.5%

* @マークは市民1人当たりの額を表しています。

(単位：万円)

決算?・・・年度内(4月から翌年の3月末)の収入と支出の状況を明らかにすることで、住民に対する財政上の責任を明確にするとともに将来の財政運営に役立てるもの。

市財政の健全度チェック！市が抱える借金・将来負担は？

自治体財政健全化法の施行により、早い段階で財政の健全度をチェックする各指標の公表等が義務付けられました。平成21年度決算時における状況をお知らせします。

実質公債費比率 13.5%

将来負担比率 122.5%

「今、返済している借金は？」

「将来負担していく借金は？」

(単位：%)

(単位：%)

項目	小美玉市		平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H21	13.5%	16位	12.0%	25% (18%)*
H20	15.1%	13位	12.8%	
H19	13.3%	28位	13.2%	

項目	小美玉市		平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H21	122.5%	9位	86.6%	350%
H20	124.9%	17位	95.7%	
H19	106.2%	24位	105.2%	

*順位・平均は、県内44市町村との比較および県内の平均。順位は上位ほど悪く下位ほど良い

*順位・平均は、県内44市町村との比較および県内の平均。順位は上位ほど悪く下位ほど良い

◇市財政の何を診断？

1年間に自由に使える収入のうち、どれくらい借金の返済に充てたのを見る比率です。この過去3年(平成19～21年度)の平均値になります。この数値が高いということは、国や県等に頼らず、市独自で事業等を実施するための自由な財源が少ないことを意味します。

*18%に達した場合にも、新たな借金をする際に許可を要するなど一部制限となる。

◇市財政の何を診断？

1年間に自由に使える収入に対して、市の負担となる借金などが、その何倍に及んでいるのを見る比率です。借金が将来にわたり財政に与えていく影響の大きさが分かります。

これを家計に例えると、借金(連帯保証人として潜在的な債務も含む)が、年収の何年分に相当しているのかといった感じになります。

自治体財政健全化法？

従来の制度では、分かりやすく財政情報を開示することや、早い段階で財政を立て直すための機能不足等が指摘されていた。このため自治体の全会計から自治体が出資する団体の負債までを対象に、自治体財政の悪化を早期に見つけ、改善策を講じることができるよう平成19年6月に制定された。

磯辺、島田 2氏が議員辞職

磯辺 隆氏(9月1日付)、島田 幸三氏(9月30日付)が、一身上の都合により議員を辞職しました。

この辞職に伴い本市の議員の現員数は22名となります。(現議員の任期：平成23年11月30日まで)



磯辺 隆氏



島田 幸三氏

委員会等の構成が変更

議員辞職により欠員が生じたため、委員会等の構成が変わりました。

■委員会

「議会運営委員会」

委員：木名瀬 幸吉

「茨城空港推進委員会」

委員長) 田村 昌男、副委員長) 橋本 政美

■一部事務組合

「湖北環境衛生組合」

選出議員：加藤 吉博

「茨城地方広域環境事務組合」

選出議員：木名瀬 幸吉

議員欠員による補欠選挙? . . . 市町村議会議員の場合、原則、条例定数の6分の1を欠いたとき、50日以内に選挙を実施。ただし、同一自治体の首長選挙が行われる場合には便乗して選挙を行う。(任期満了まで60日以内の場合を除く)